

ふるさと文化館ニュース

Newsletter of Nerima Shakujiikoen Furusato Museum



THE TOKYO STATION.

場車停京東内ノ丸(所名都帝)

丸ノ内東京停車場(大正7<1918>年~昭和8<1933>年頃)

企画展

絵葉書で
名所めぐり

昭和戦前期の風景
—
明治期から

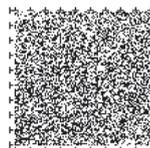


口入景全島の江洲相
View of Enoshima

江の島全景入口(大正7<1918>年~昭和8<1933>年頃)

令和8(2026)年

4月11日(土) ▶ 6月7日(日)



企画展

「絵葉書で名所めぐり — 明治期から昭和戦前期の風景 —」

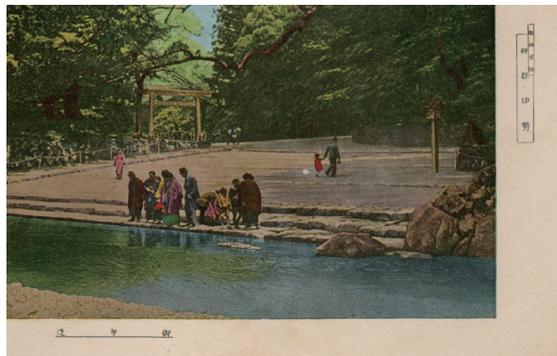
会 期: 令和8年4月11日(土)~6月7日(日)
 会 場: 石神井公園ふるさと文化館 2階 企画展示室
 観覧料: 無料

近代日本の郵便制度は明治4(1871)年に始まり、同6(1873)年に「官製葉書」が登場しました。同33(1900)年には「私製葉書」の使用が認められるようになり、日本でも「絵葉書」が作られるようになりました。戦争、事件、災害、イベントなど当時の様々なできごとを題材に取り上げ、絵葉書は当時のメディアとしての役割を果たしました。また、名所・旧跡などの観光地や各地の主な都市など、風景を写した絵葉書は、鉄道の開通・普及による旅行ブームとあいまって、人気を集めました。

本展では、当館に寄贈された収蔵資料から、関東近県のほか、各地の名所・旧跡などを紹介した明治期から昭和戦前期にかけての絵葉書を中心に展示します。各地を観光するような気分を味わっていただければ幸いです。



高尾登山鉄道会社 入口
 (昭和2(1927)年~8(1933)年頃)



左:伊勢神宮 御手洗
 (明治40(1907)年~大正7(1918)年頃)



右:京都 西本願寺
 (大正7(1918)年~昭和8(1933)年頃)

関連イベント

講演会「郵便制度における絵葉書の歴史」

日時 5月24日(日)14時~16時 **参加費** 無料 **定員** 90名(抽選)
講師 田辺龍太(切手の博物館学芸員) **会場** 石神井公園ふるさと文化館 1階 多目的会議室
申込 往復はがきまたはHP申込フォームにて4月28日(火)必着

展示解説会

日時 5月20日(水)、5月31日(日)、各回14時~(30分程度) **参加費** 無料
会場 石神井公園ふるさと文化館 2階 企画展示室(直接会場にお集まりください)

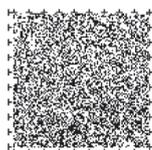


詳しくは、本展チラシ、
 当館ホームページを
 ご覧ください

石神井公園ふるさと文化館 公式SNSのご紹介

石神井公園ふるさと文化館では、X(旧Twitter)、Facebook にて、展覧会や館内イベント、石神井公園の自然についてなど様々な情報を発信しております。ぜひ、フォローして気になる情報をチェックしてください!

二次元コードから、
 ふるさと文化館
 公式SNS にアクセス!



Facebook



X(旧Twitter)



いつの時代も、紙の余白やノートの余ったページに、文字や絵を書いて空想にふける子どもたちがありました。

今回は、近年収集した資料や館蔵資料の中から、明治期の子どもの落書きが見られる資料をご紹介します。

まずは、表紙に「算法記」と書かれたノートです。所有者は、面積を求める問いに淡々と答えを記していますが、後半になると小さな落書きが現れ、最終的に馬に乗った男性の絵でページの半分以上が占められてしまいます。



「算法記」

ノートの後半に落書きが現れるという意味では「証文一冊目」も同様の事例です。いわゆる「往来物」と呼ばれる、実用的な書類のひな形の余白部分に、江戸時代に広く流通した寛永通宝の裏面が、はんこ代わりに押されています。この寛永通宝は明和5(1768)年に鑄造されたもので、明治期を通じて二厘銭として使用されていたため、手元にあった硬貨で遊んだものと考えられます。

落書きとはやや異なりますが、「諸証文手本」の裏表紙には、「手習いは、坂に車をおす如く、由断をすれば、あとへもどる」と書かれています。勉強を怠けるとすぐに元に戻ってしまうという意味の俗歌で、勉学への決意を込めた一文のようにも思えますが、意気込みとは裏腹に、

最後のページには見開き部分で龍や亀のイラストがコミカルに描かれています。

その他、手習いの資料と一緒に保存されていた半紙には、次のような話を書き留められていました。1話目「鳩と庭鳥」は、鳩が自分の草履を履いて帰ろうとしたのに気がついた鶏が「鳩さん、草履がまちがったから『トッケッコー』(「とっかえよう」の意)」と鳴いた話。



「諸証文手本」

2話目「ほくろくじんの南瓜」は、宿から飛び出していたほくろくじんの頭頂部をカボチャと勘違いした通行人が、「売ればよいのに」と宿屋の番頭にアドバイスする話。末尾にはご丁寧に、頭が長くあごひげを蓄えた老人のイラストが添えられています。

この資料には「(おとしばなし)」と記されており、落ちのある面白い話として記録したことがうかがえます。「ほくろくじん」は、おそらく福祿寿(福祿人とも)のことで、類似の昔話が日本各地に伝えられています。

100年以上前に練馬区域で暮らした子どもたちの息づかいを、少しでも身近に感じていただければ幸いです。(学芸員 平沼真実)



「(おとしばなし)」

練馬区立石神井公園ふるさと文化館デジタルスタンプラリー

令和8年度は4月初旬から開催

お手持ちのスマートフォンで2つのスタンプを集めて、オリジナル待ち受け画面を手に入れよう!

練馬区立石神井公園ふるさと文化館でスタンプ1個

同館分室でスタンプ1個

魚戸おさむ先生・はしもとみつお先生の描き下ろしデジタルスタンプ



新作

村上もとか館長の描き下ろし待ち受け画面

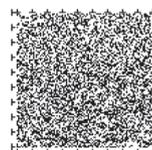


この機会にぜひ当館分室にもお越しいただき、展示やデジタルスタンプラリーをお楽しみください。

*ブラウザがプライベートブラウザモード、またはシークレットモードの場合は解除してご利用ください。

令和8年度 展覧会年間予定(展覧会名、会期)

企画展	絵葉書で名所めぐり -明治期から昭和戦前期の風景-	令和8年4月11日(土)~6月7日(日)
企画展	絵図・地図展(仮称)	令和8年6月20日(土)~8月16日(日)
特別展	千川上水開削330周年(仮称)	令和8年9月12日(土)~11月3日(火・祝)



催し物のご案内(令和8年4月～6月)

石神井公園ふるさと文化館展覧会

企画展「絵葉書で名所めぐり —明治期から昭和戦前期の風景—」

4月11日(土)～6月7日(日)
※展覧会および開催イベントの詳細等につきましては、
2ページをご覧ください。

企画展「絵図・地図展(仮称)」

6月20日(土)～8月16日(日)

季節展示

歳時にあわせた年中行事を再現し、季節ごとに飾りつけなどを行います。(観覧無料)

五月人形飾り

4月25日(土)～5月6日(水・休)

七夕飾り

7月3日(金)～7月7日(火)

ふるさと文化講座

歴史・民俗・自然など様々なテーマの講座を行います。

第1回ふるさと文化講座

「江戸の祭礼文化 —天下祭と大型祭礼—」

6月28日(日) 14時～16時

講師 滝口 正哉(徳川林政史研究所 特任研究員)

定員 90名(抽選) 参加費 無料

会場 石神井公園ふるさと文化館1階 多目的会議室

申込 事前申込制※

サポーター企画事業

絵本のよみきかせ

4月18日(土) ①14時～②15時～

参加費 無料

会場 石神井公園ふるさと文化館1階 多目的会議室
(直接会場にお集まりください)

その他イベント

やってみよう!プロの漫画家に教わる漫画教室

5月から9月の土曜日14時～15時30分 全8回

対象 小学5年生～高校生優先。保護者の参加もしくは付き添い可能

定員 30名(抽選) 参加費 1,000円 8回分を初回に支払い

申込 事前申込制※ (返金なし)

会場 石神井公園ふるさと文化館1階 多目的会議室など

石神井公園ふるさと文化館デジタルスタンプラリー

4月初旬～令和9年3月29日(日)

会場 石神井公園ふるさと文化館/分室(石神井松の風文化公園管理棟内)

参加費 無料

ギャラリー展

写真展 ホタル—生命の輝き—

5月30日(土)～7月12日(日) 観覧無料

ホタルの夕べ

当館で育ったホタルの鑑賞会を行います。
淡い光をお楽しみください。

開催 6月中旬頃 事前申込制※

詳しくは5月頃、ホームページ等でお知らせします。

分室

五味康祐のオーディオで聴くレコードコンサート

4月25日(土)、5月23日(土)、6月20日(土)

①13時30分～15時 ②15時30分～17時

対象 中学生以上 定員 各回20名(抽選)

参加費 各回300円～500円(解説員により異なる)

会場 石神井松の風文化公園管理棟2階
五味康祐オーディオ展示室

申込 事前申込制※

※各催しの開催時期・内容は変更になることがあります。また、募集時期・申込方法については、ねりま区報や当館ホームページ等でお知らせします。

利用のご案内(令和8年3月現在)

開館時間 9時～18時(会議室の利用は、9時～21時30分) 入館無料 ※特別展は一部を除いて有料

休館日 月曜日(月曜日が祝休日のときは、その翌平日)、年末年始(12月29日～1月3日)、臨時休館日

石神井公園ふるさと文化館

徒歩10分

分室

西武池袋線「石神井公園駅」下車 徒歩15分

西武新宿線「上井草駅」下車 徒歩25分

西武バス 荻14

(石神井公園駅南口～上井草駅～荻窪駅)

みどりバス 関町ルート(関町福社園～武蔵関駅南口～
上石神井駅～練馬高野台駅～順天堂練馬病院)
「JA東京あおば」下車 徒歩5分

西武バス 荻15(長久保～大泉学園駅南口～上井草駅～

荻窪駅～阿佐ヶ谷駅)

「三宝寺池」下車 徒歩2分

西武池袋線「石神井公園駅」下車 徒歩15分

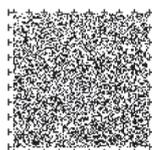
西武バス 吉60(成増町～石神井公園駅北口

～上石神井駅～吉祥寺駅)

西武バス 荻15(長久保～大泉学園駅南口～上井草駅

～荻窪駅～阿佐ヶ谷駅)

「石神井郵便局」下車 徒歩3分



石神井公園ふるさと文化館ニュース Vol.58

令和8(2026)年3月1日発行

編集・発行 練馬区立石神井公園ふるさと文化館(公益財団法人練馬区文化振興協会)

ホームページ <https://www.neribun.or.jp/furusato.html>

石神井公園ふるさと文化館 住所 〒177-0041 東京都練馬区石神井町5-12-16

石神井公園ふるさと文化館分室 住所 〒177-0045 東京都練馬区石神井台1-33-44

TEL:03-3996-4060 FAX:03-3996-4061